

このたびは、ワイヤレスモニタースピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

### 安全上のご注意

必ずお守りください

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜く

#### 分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



#### 異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



#### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



#### 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



#### 屋外で使用中に雷が鳴り出したら、使用しない

落雷の原因となります。使用を中止し、機器から離れてください。



#### 配線は正しくおこなう

ショートや、誤配線により火災の原因となります。





**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

<p><b>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない</b> 火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p><b>不安定な場所に置かない</b> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>	
<p><b>電源コードを熱器具に近づけない</b> コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p><b>異常に温度が高くなる場所に放置しない</b> 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p>	
<p><b>長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</b> 火災の原因となることがあります。</p>	  <p>プラグをコンセントから抜く</p>
<p><b>通行などの障害となる場所には設置しない</b> 引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。</p>	
<p><b>配線は、アンプの電源を切っておこなう</b> 感電の原因となることがあります。</p>	
<p><b>お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く</b> 感電の原因となることがあります。</p>	 <p>プラグをコンセントから抜く</p>
<p><b>電源を入れる前には音量を最小にする</b> 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。</p>	
<p><b>長時間音が歪んだ状態で使わない</b> スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>	
<p><b>濡れた手で、電源コードを抜き差ししない</b> 感電の原因となります。</p>	
<p><b>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない</b> コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。</p>	
<p><b>移動するときは、コード類を傷つけない</b> 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。</p>	 <p>プラグをコンセントから抜く</p>
<p><b>この機器に乗ったり足場代わりにしない</b> 特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。</p>	
<p>機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。</p>	
<p>1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。</p>	

# 各部の名称と説明

## マイク音量調節つまみ

(ワイヤレスマイク/有線マイク兼用)

ワイヤレスマイク、またはマイク入力ジャックに接続された有線マイクの音量を調節してください。(有線マイク接続時はワイヤレスマイク使用不可)

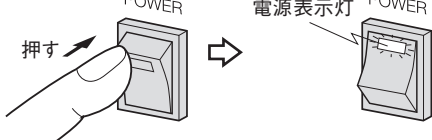
## ライン音量調節つまみ

ライン入力ジャックに接続された機器の音量を調節してください。

## 電源スイッチ

このスイッチの上部を押すと電源が入り電源表示灯が緑色に点灯します。電源を切るときはスイッチの下部を押してください。

1. 上部を押して電源を入れる
2. 電源表示灯が点灯



## スピーカー部

## ホイップアンテナ

ワイヤレスマイクを使用されるときは、垂直に起こしてご使用ください。

## マイク入力ジャック

(-52dBV 600Ω 不平衡)  
有線マイクのプラグを接続してください。

### ご注意..

ワイヤレスマイクと有線マイクは同時に使用できません。  
ワイヤレスマイクを使用するときは、マイク入力ジャックに有線マイクのプラグを接続しないでください。

## ライン出力ジャック

(-22dBV 10kΩ 不平衡)

本機に増設アンプを接続するときはアンプのライン入力ジャックに接続してください。

また、テープデッキの録音端子に接続しますと放送内容を録音することができます。

ライン出力ジャックからはマイク入力とライン入力がミキシングされ、本機の各音量調節つまみに連動して出力されます。

## ライン入力ジャック

(-22dBV 10kΩ 不平衡)

カセットプレーヤーやCDプレーヤーなどのライン出力を接続してください。ワイヤレスマイク、または有線マイクとのミキシング放送がおこなえます。

## 電源コード

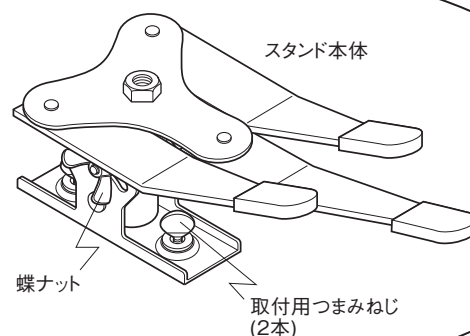
AC100Vコンセントへ

## グループ/チャンネル設定スイッチ

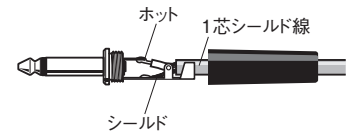
6~8ページのワイヤレスチューナー部の説明をご覧ください。

## スピーカースタンド(付属)

本機にこのスタンドを取り付けて、平らな机や台などの上に置いてご使用ください。4ページのスピーカースタンドの取付方法の説明に従って取り付けてください。



## ライン入力/ライン出力接続用 2極大形プラグ結線図



# スピーカースタンドの取付方法



## 警告

本機に付属のスピーカースタンドを取り付ける場合は下記の説明に従って正しく取り付けてください。特にねじ類の締付には充分注意してください。落下や転倒によりけがの原因になります。

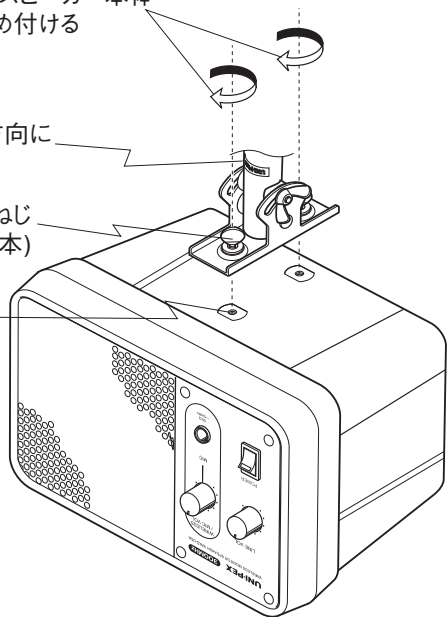
### 1. モニタースピーカー底面のスタンド取付用ねじ穴にスタンドを取り付ける

取付用つまみねじ(2本)を矢印の方向にまわし、スピーカー本体のねじ穴に締め付ける

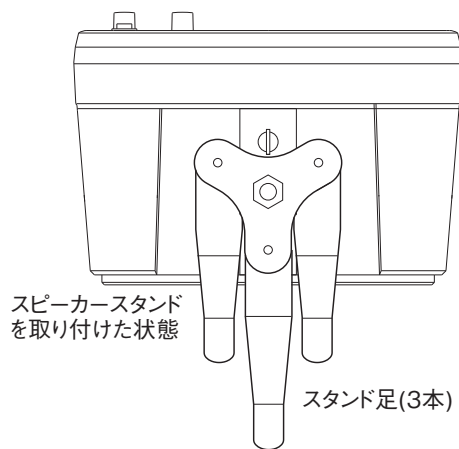
ロゴネームを前方向にして取り付ける

取付用つまみねじ(2本)

スタンド取付用ねじ穴



### 2. 両端のスタンド足を開ける



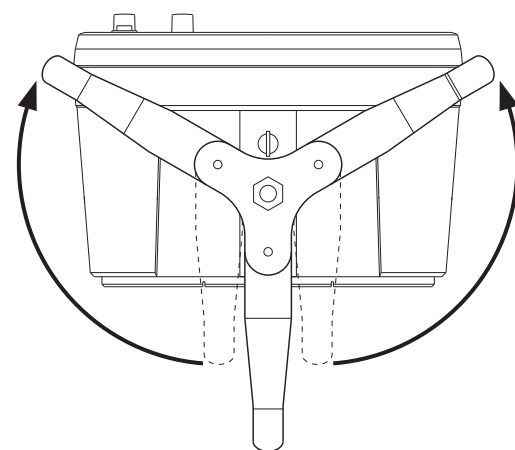
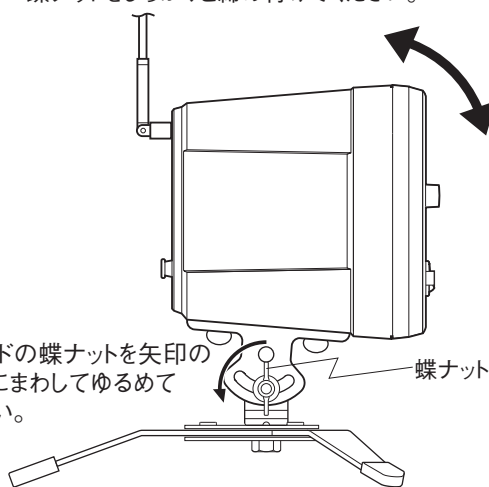
スピーカースタンドを取り付けた状態

スタンド足(3本)

### 3. スピーカー本体の垂直角度を調節する

3-2  
スピーカー本体の垂直方向の角度調節をおこない、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。

3-1  
スタンドの蝶ナットを矢印の方向にまわしてゆるめてください。



両端のスタンド足を矢印の方向に  
いっぱいにはげ

#### ご注意....

蝶ナットは少しずつゆるめて角度を調節してください。  
ボルトがはずれるまでゆるめないようご注意ください。

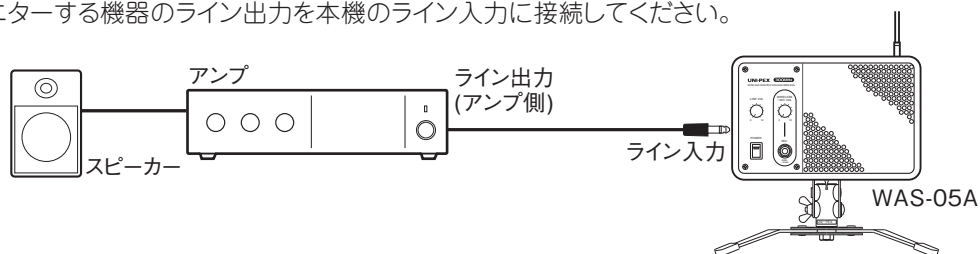
# 接続方法(例)

◎本機を使用される用途により、必要な機器を各ジャックに接続してください。

ご注意.. ・接続コードについては、本機に接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり正しく接続してください。  
・本機及び接続コードは雑音の原因になる機器や場所には近づけないようにしてください。

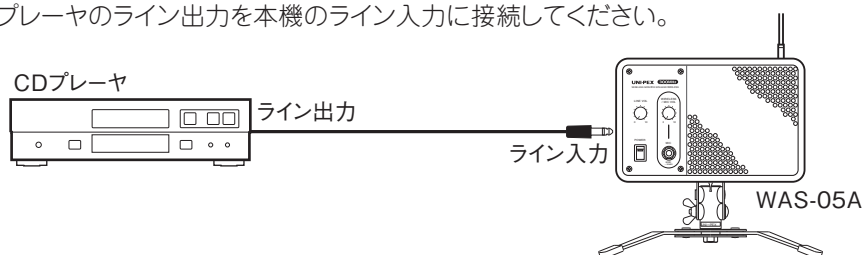
## ●モニタースピーカーとして使用する場合

・モニターする機器のライン出力を本機のライン入力に接続してください。



## ●CD(カセット)プレーヤを接続する場合

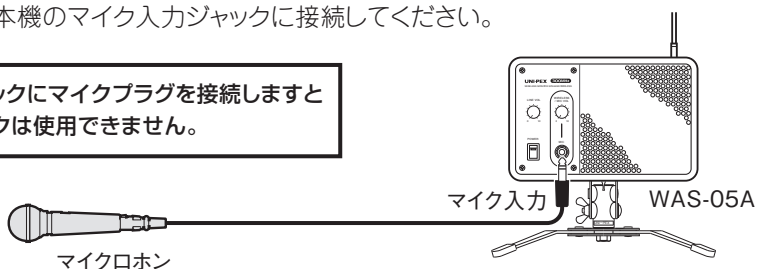
・CD(カセット)プレーヤのライン出力を本機のライン入力に接続してください。



## ●マイクロホンを使用する場合

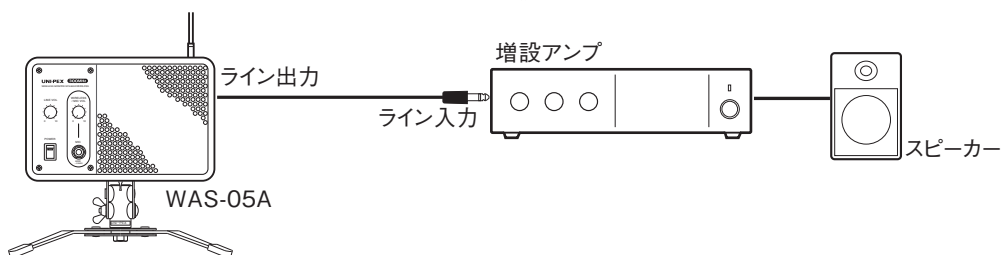
・マイクロホンのプラグを本機のマイク入力ジャックに接続してください。

ご注意..  
マイク入力ジャックにマイクプラグを接続しますと  
ワイヤレスマイクは使用できません。



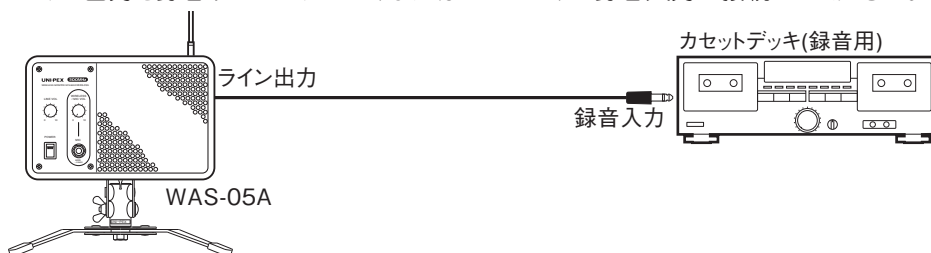
## ●アンプを増設する場合

・本機のライン出力を増設するアンプのライン入力に接続してください。



## ●放送内容を録音する場合

・本機のライン出力を録音するテープデッキまたはMDデッキの録音入力に接続してください。



**⚠ 注意** 接続コード類は通行などの障害となる場所に設置しないでください。引っかかったり、落下したり転倒したりなどしてけがの原因となることがあります。

# 300MHz帯ワイヤレスシステムについて

## ■グループについて

- 同一場所で、複数のマイクを同時に使用する場合は1つのグループに統一します。  
(グループ1~4の中から1つのグループを選びます。)
- ・グループ1~3の中から1つのグループを選んでシステムを組めば、最大4波まで使用できます。
- ・グループ4は1波使用できます。

## ●受信周波数表→

周波数 (MHz)	グループ / チャンネル番号			
	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

## ■チャンネル呼称について

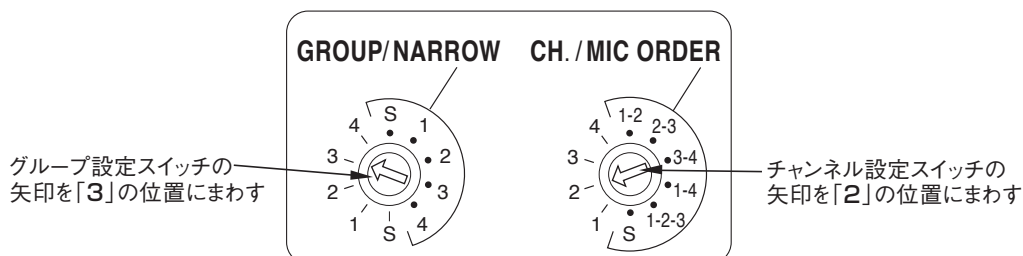
例

C 1 3  
 ⋮ ⋮ ⋮  
 a b c

- Ⓐ ……300MHz帯を表わす
- Ⓑ ……グループ(GROUP)番号を表わす
- Ⓒ ……グループ内のチャンネル(CH)番号を表わす

## ■グループ / チャンネル番号の設定例

使用するワイヤレスマイクのグループ / チャンネル番号が「C32」の場合

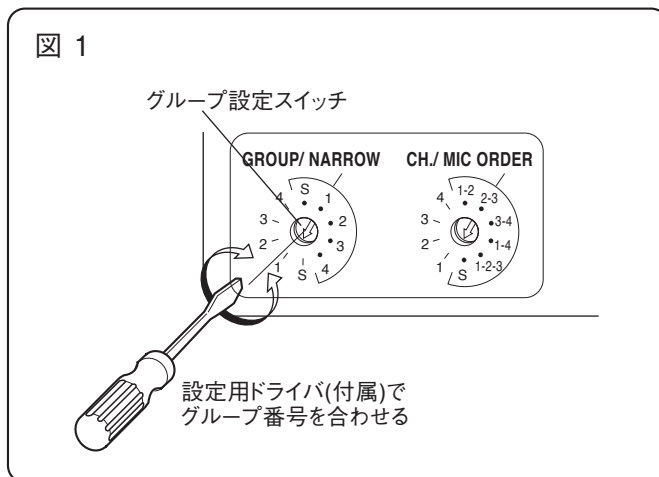


# チューナー一部の周波数設定のしかた

- 本機は出荷時に、グループ／チャンネル設定スイッチを「C11」に設定しています。周波数設定を切り換える場合は、付属の設定用ドライバを使用し、次の要領でおこなってください。(図1/2参照)

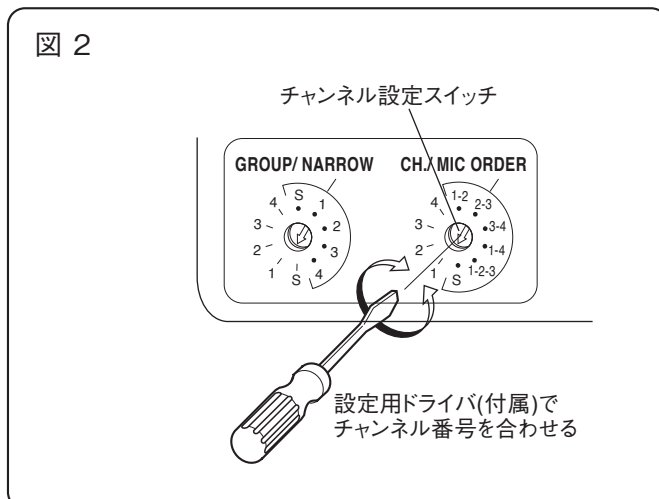
## 1.グループ番号を設定する

グループ(GROUP)設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号に合わせます。(図1参照)



## 2.チャンネル番号を設定する

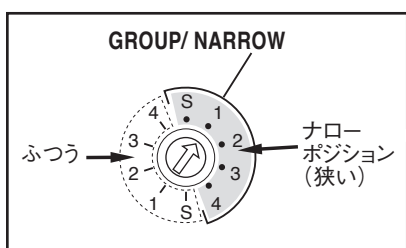
次にチャンネル(CH)設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。(図2参照)



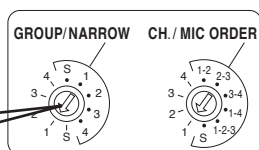
- ご注意..
- 受信機とワイヤレスマイクは、同じ周波数(グループ及びチャンネル)に設定してください。
  - 周波数を設定するときは、必ず電源を「切」にしてください。

# ナロー「NARROW」ポジションについて

◆グループ設定スイッチを「NARROW」側でグループ番号を設定する場合。



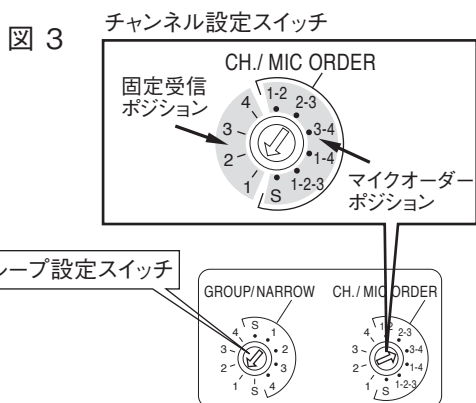
グループ設定スイッチ



・本機を使用中に、近隣で使用するワイヤレスマイクが混信するとき、または混信の恐れがあるときに設定してください。受信感度を抑え、混信を防ぐことができます。

# マイクオーダー「MIC ORDER」について

- 本機は1本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。



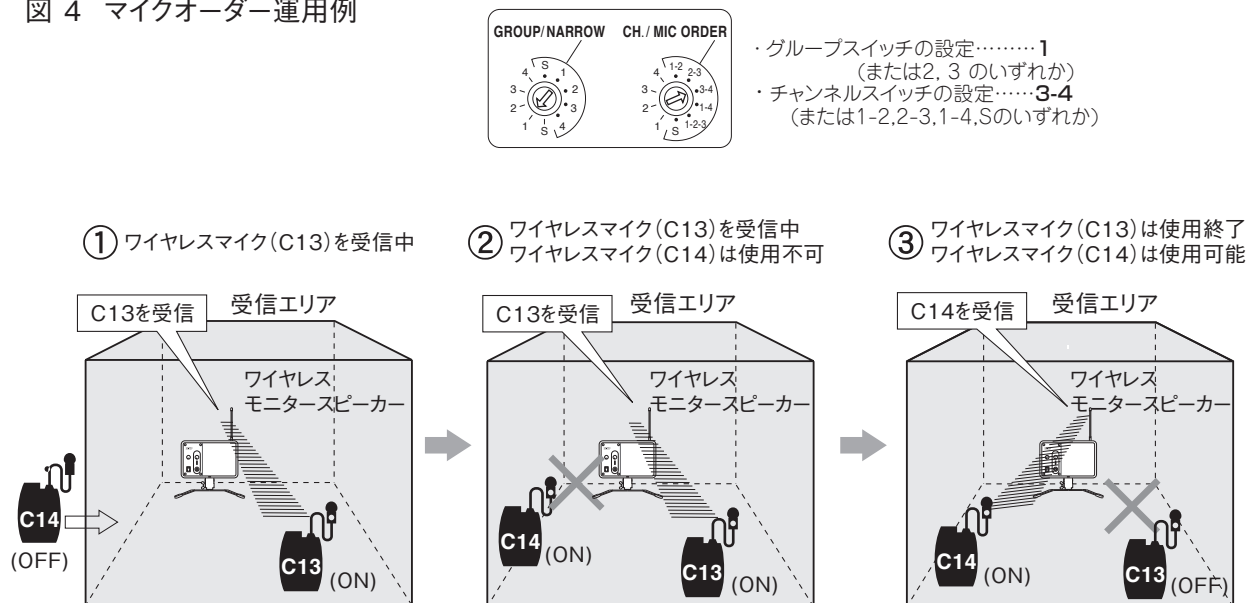
◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

グループ設定スイッチ チャンネル設定スイッチ	1	2	3	
マイク オー ダー ポ ジ シ ョ ン	1-2	C11 C12	C21 C22	C31 C32
	2-3	C12 C13	C22 C23	C32 C33
	3-4	C13 C14	C23 C24	C33 C34
	1-4	C11 C14	C21 C24	C31 C34
	1-2-3	C11 C12 C13	C21 C22 C23	C31 C32 C33
	S	C11 C12 C13 C14	C21 C22 C23 C24	C31 C32 C33 C34

## ◆「マイクオーダーポジション」とは？

- ・チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(2~4)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。(図 3 参照)
- ・最大4チャンネルの受信が可能です。最初に使用(電源スイッチ「ON」)したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。(図 4 - ② 参照)
- ・受信中マイクの使用が終わり(電源スイッチ「OFF」)次第、設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。(図 4 - ② 参照)
- ・設定可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1」、「2」、「3」のいずれかに設定してください。「4」、「S」には設定しないでください。設定エラーとなり受信できません。

図 4 マイクオーダー運用例





# ワイヤレスマイクの使い方

- ワイヤレスマイクは、本機に組み込まれたチューナーユニットと同じチャンネルのものをお使いください。ただし同一送信周波数のワイヤレスマイクを同時に2本以上使用することはできません。
- 雑音が入る場合は、ワイヤレスマイクをアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離を2m～10mにしてください。なお、2m以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。
- 使用するワイヤレスマイクの取扱説明書もよくお読みください。

## 点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症 状	点 検 項 目	対 策
全く動作しない	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチは入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	各音量調節つまみが絞られていませんか。	各音量を適当な音量に調節してください。
有線マイクの音声がでてこない	マイクのトークスイッチは入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
ワイヤレスマイクの音声がでてこない	ワイヤレスマイクのトークスイッチは入っていますか	マイクのトークスイッチを入れてください。
	ワイヤレスマイクの電池が入っていますか。	確認と同時に電池の消耗も確認してください。
	マイク入力ジャックにマイクプラグが接続されていませんか。	マイクプラグの接続をはずしてください。
	ワイヤレスマイクとワイヤレスチューナーのグループ／チャンネル番号は同じですか。	グループ／チャンネル番号を確認してください。
	デッドポイントの位置ではありませんか。	確認してください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
ライン入力の音が出てこない、スピーカーより音がでない。	ラインプラグは確実に接続されていますか。	確認してください。特に増設されている場合、全てのライン接続を確認してください。
	ライン音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
音がわる	過大入力になっていませんか。	音量調節つまみを下げてください。
雑音がでる	機器本体やライン接続コード、マイクコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか。	雑音を発生する機器から遠ざけてください。



### 警告

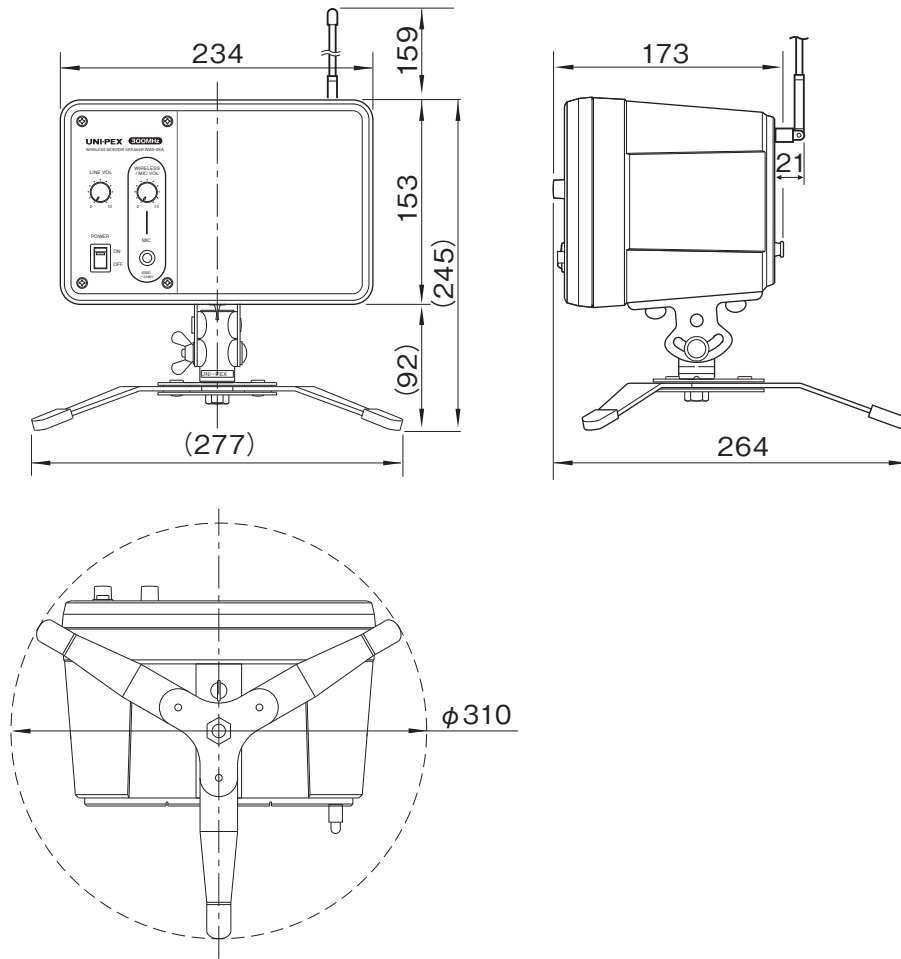
- 上記の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常が無いことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- 本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は、必ず販売店などにご依頼ください。

# 定格

使用電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	13 W(電気用品安全法による測定方法に基づく)
消費電流	230mA
定格出力	5W/8Ω
再生周波数帯域	100Hz~15kHz 偏差20dB(ライン入力 定格(5W)出力時)
入力感度及びインピーダンス	マイク: -52dBV 600Ω 不平衡 音量調節器付 ライン: -22dBV 10kΩ 不平衡 音量調節器付
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン受信
受信周波数	322.025MHz~322.150MHz、322.250MHz~322.400MHz(25kHz間隔 13波)
受信感度	20dBμV
信号対雑音比	60dB以上
内蔵スピーカー	8Ω 12cmフルレンジスピーカー(防磁形)
ライン出力	-22dBV ±3dB 10kΩ 不平衡 2極大形ジャック
動作表示	電源:LED(緑)
使用温度範囲	0°C~+40°C
外装	パネル(ABS樹脂): マンセル N1.5 近似色 ブラック艶消し 前面ネット(パンチングメタル): マンセル N1.5 近似色 ブラック艶消し ケース(PS樹脂): マンセル N1.5 近似色 ブラック艶消し
寸法	幅277mm 高さ245mm(アンテナ直立時は404mm) 奥行264mm (本体のみ 幅234mm 高さ153mm 奥行173mm) アンテナ含まず
質量	約 3.4kg(本体:約 2.8kg/スタンド:約0.6kg)
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、スピーカースタンド 1、設定用ドライバー 1、

# 外觀寸法図

(単位 : mm)



## サポートのご案内

### ■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

### ■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページ  
もしくはQRコードにアクセス  
してください。

<http://www.unipex.co.jp>



### ■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

**UNI-PEX 0120-56-5245** 通話料無料

お客様ご相談センター

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

PHS・携帯電話からのご利用は、

**072-855-3334**（通話料がかかります）

#### 【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

## ワイヤレスモニタースピーカー WAS-05A 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 <b>見本</b> 様 ご住所 〒 電話( )
販売店	店名・住所 電話( ) 印

#### 保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
(This warranty is valid only in Japan)

#### 無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

#### 無料修理保証の免責範囲

- (次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)
- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
  - ②不当な修理改造による故障、損傷。
  - ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
  - ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
  - ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
  - ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
  - ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)